

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
保健医療デジタルトランスフォーメーション特論	1単位 15時間(8コマ) 講義科目	博士前期1年次 通年開講	<input type="checkbox"/> ・不可
科目責任者	木暮 祐一 (非常勤・名桜大学) (調整担当: 吉池 信男)		
担当者	木暮 祐一 (非常勤・名桜大学)、小山 博史 (非常勤・東京大学大学院)、守川義信 (非常勤・青森県健康医療福祉部)		
1. 科目のねらい・目標			
【ねらい】地域の保健医療、特に人口減少が急速に進む医療過疎の地域を含めて、デジタル技術等の活用による持続可能なシステム構築やサービス提供に必要な基本的事項と応用例を学ぶ。 【目標】新たな技術基盤の概要を理解し、自らが実践や研究に関わる領域における活用方策を考えることができるようになる。			
2. 授業計画・内容			
1～2) 担当: 小山博史 公共健康情報学の基礎及び下記のような情報の統合的システムを解説する。 ・健康情報システムの構築と活用 ・サーベイランスシステム ・情報セキュリティの基礎 3～6) 担当: 木暮祐一 保健医療分野でDXの応用面について、技術等の基本となる事項や具体的事例等を解説する。 ・DXとはなにか ・情報通信技術の進歩と保健医療分野への応用 ・具体的な活用例 ・関連法制度と規制緩和に向けた動き 7～8) 担当: 守川義信 (希望は8/23(土)、8/24(日)、8/30(土)、8/31(日)、9/20(土)、9/21(日)全日) 保健医療分野でDXの応用面について、特に過疎地域での遠隔医療の活用と課題について解説する。 ・遠隔医療(オンライン診療を中心に)をめぐる課題と国の動きについて ・へき地・離島における具体的な遠隔医療の活用例 ・オンライン診療のエビデンスについて			
3. 教科書、参考書			
参考書: 小山博史, 公共健康情報学入門, 共立出版, 2020 その他、適宜紹介や配布をします。			
4. 成績評価方法			
オンラインでの筆記試験(25%; 小山)、レポート(75%; 木暮、守川)により総合的に評価する。			
5. 受講要件			
特になし。			
6. 社会人学生に対する配慮			
双方向型の完全オンライン授業、あるいは対面とオンラインを組み合わせたハイフレックス型で授業を行います。なお、平日の開講となった場合などで、出席が出来ない場合には、オンデマンドでの後日受講も可とします。			
7. その他			
講義欠席の場合には、講義動画をオンデマンド視聴の上、個別の課題提出などにより出席とみなします。			